

新人研修講座概要

<講師>

特別講義：田上 明会長
武内 昶篤副会長
平岡 久仁子 先生（帝京平成大学）
山下 律子 先生（山下社労士行政書士合同事務所）
柴田 礼子 先生（順天堂大学医学部附属練馬病院）
小嶋 章吾先生（国際医療福祉大学）
その他、現任ソーシャルワーカー

組織理解：樋口 昌彦 先生（至誠会第二病院）
仲谷 恵美子 先生（森山記念病院）

個別援助技術：小松 美智子 先生（武蔵野大学）

新人研修は内容としては特別講義、組織理解、個別援助技術の3部構成、研修体系としては通年・集中の2コースに分かれています。

<内容>

特別講義（全6回）は通年・集中両方の参加者全員に受講して頂きます。新人ソーシャルワーカーとして是非知っておいて頂きたい内容として、様々な視点と領域から各テーマを設定しています。

組織理解は組織の中でのソーシャルワーカーの位置づけや果たすべき役割、関係機関との協働などを中心に組織の中で役立つ基本的内容を講義していきます。

個別援助技術は、日常の相談業務を振り返りながら、面接をいかに行い、どのように進めていけば良いのか、相談者の抱えている本当の問題を発見し、理解するためにはどうしたら良いのか・・・といった日常の相談業務に役立てられる内容の講義をしていきます。

<研修体系（通年コース・集中コース）>

通年コースは、概ね月2回（スケジュール上1または3回の場合有）実施します。特別講義6回、組織理解6回、個別援助技術8回の全20回開催予定です。一年間、じっくりソーシャルワーカーとしての基礎を学べるコースです。

集中コースは、通年コースでは回数が多いので業務上参加が難しいという方の為に特別講義6回は変わりませんが、組織理解と個別援助技術を各1日でコンパクトにまとめて学べるようにし、全8回開催予定としたものです。